

# 手をつなごう！



社会福祉法人 福振会 川目保育園

令和4年3月1日 3月号

「子どもたちに伝えたいこと」 (「21世紀に生きる君たちへ」)

～北京オリンピックと司馬遼太郎氏の願い(祈り)～

園長 岩田俊雄

早いもので、今日から3月を迎えました。この季節を「光の春」とも言うそうですが、日中の日差しが眩しく、暖かく感じられるこの頃です。

さて、20日夜 冬季オリンピック北京大会が終わりました。連日繰り広げられる日本人選手(本県選手)の活躍に感動した17日間でしたが、特に心に残った競技終了後の場面があります。

一つ目は、混合団体ジャンプ競技後のことです。1回目に規程違反で失格と判定された高梨沙羅選手。2回目のジャンプ後、顔を覆い泣き崩れ、まるで謝罪するかのように深々と頭を下げる高梨選手の肩を抱く八幡平市出身の小林陵侷選手の言動です。「沙羅もすごくいいジャンプをしていた。本当に強いなって思う。たくさんハグしてあげました。」との談話です。仲間を気遣う優しさをにじませた小林選手の姿をたくましく、そして頼もしく思いました。

二つ目は、スノーボードの女子ビッグエア決勝3回目終了後、最高の大技(トリプルアンダーフリップ)に挑戦した一関市出身の岩淵麗楽選手のことです。競技後に世界各国の選手が岩淵選手に駆け寄り、その勇気をたたえた場面です。本人は「本当にびっくりした。私だけの挑戦だったと思っていたけれど、みんながこんなに褒めてくれて」と述べています。メダリストにはなれませんでした。お互いに尊敬し合い、理解を深め合う選手の姿に心を動かされました。

「人間は、自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている。」自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくりされていない。

このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うと言う気持ちや行動のもとのもとは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることも言っている。やさしさと言いかえてもいい。

「いたわり」 「他人の痛みを感じること」 「やさしさ」

みな似たような言葉である。この三つの言葉は、もともと一つの根から出ているものである。根と言っても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身につけねばならないのである。

これは、「21世紀に生きる君たちへ」(作者:司馬遼太郎一小6国語教科書)の、文中に述べられている子どもたちへの願い、祈りです。

令和3年度も残り1か月になりました。子どもたちにこの願い、祈りをどのように伝えていったらよいものか、思考(施行)の日々が続きます。



子どもたちは、お家の方に作ってもらったお弁当がうれしくて、うれしくて、「みて、みて！」がとまらなかつたです。



# お弁当 ありがとう ございました



## ほけんだより



### 耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。たまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいたときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



### ～もうすぐ、卒園、進級～

そう組の子どもたちは、卒園を間近に控え、小学校へ行くことに、うれしさを見せている反面、寂しいと表現している姿もあります。他のクラスも、例年であれば、進級クラスに遊びに行ったりして、新しい環境に少しずつ慣れるように準備をしていたのですが、コロナ感染の予防の為、出来かねております。

子どもたちに、1つでも多く、日々の保育の中で楽しい思い出を残していければと思います。

## 3月の行事予定

- 1日(火) 園だより・安全点検
  - 11日(金) 避難訓練・布団返却日
  - 18日(金) 卒園式練習・布団返却日
  - 19日(土) 卒園式
  - 25日(金) 布団返却日
  - 26日(土) 新年度準備
  - 31日(木) そう組最終登園日・給食だより
- ※誕生会と、ありがとうの会の日程は後日お知らせいたします。

## 4月の行事予定

- 1日(金) 園だより・安全点検・布団返却日
- 8日(金) 布団返却日
- 15日(金) 避難訓練・布団返却日
- 20日(水) 前内科検診 15:00～
- 21日(木) 園庭開放
- 22日(金) 誕生会・布団返却日
- 28日(木) 給食だより・布団返却日